



災害時の三県連携 ~災害時における建設業の役割~ 地域にとって必要な建設業とは。

- かごしま住まいと建築展
- 学校への取組みと建設業の今後

部会長挨拶 / 各部会報告 / 若手社員紹介 (内村建設株式会社) / ご案内

□ 株式会社前田組 (提供)

鉄骨造3階建ての1階土間配筋状況。

鉄骨建方完了後に土間配筋を行っているところ。鉄筋を縦方向・横方向にD10とD13を交互に20cm間隔で上下2段で配筋している。

activity report

2016 かごしま 住まいと建築展

02

青年部会では、鹿児島県工学院専門学校の学生とコラボレーションしたブースを出展し、建築士専攻科の学生の卒業設計や牛乳パックハウス、各社の施工事例の展示を行いました。画した牛

今年度も、かごしま県民交流センターで開催された「かごしま住まいと建築展」に参加致しました。テーマは「魅力あるかごしま楽しめる住まいづくり〜見たい!知りたいたい!自然災害に強い家!〜」。毎年様々な住情報を得ることができ、展示ブースや体験コーナーなどたくさんの方が楽しめるイベントとなっております。



牛乳パックハウスが子供たちに大好評で、大変な賑わいでした。また、「学生との交流会」も開催し、県内各校より多数の参加をいただきました。学生の皆さんに建築に関するクイズや鉄筋の結末体験等、実際の建築現場を想像できるような体感的なプログラムを通して、楽しみながら話を聞いてもらう事ができ大変好評をいただきました。

建設業発展のために積極的に参加しています!!

special report

災害時の三県連携意見交換

01

地域にとって必要な建設業

熊本・宮崎・鹿児島の建築業界青年団体が開催している三県合同懇談会(今年は鹿児島県主催のもと開催)、今年は熊本県建築協会建伸会より、震災における被災状況ならびに復旧活動を報告いただきました。メディアで見ることのできなかった具体的な被災状況に唖然としましたが、同時に建設業が地域になくてはならない社会的価値のある企業であることを再認識しました。

「なぜ地域にとって建設会社が必要なのか?」この問いに対して、三県で色々な意見が出ました。その答えに多くの地域の人々は建設業に対して「災害時に行政と連携していち早く救援や復旧に当たってくれるから」という期待を持っています。



| 意見交換会



| 熊本の現状を把握し、情報共有を。



| 三県合同懇談会

これからの時代に必要不可欠となる事業継続計画(BCP)について、各社が取組むきっかけになったと思います。

災害が地域をおそったら、この期待に本当に応えられるか。言い換えれば、災害時の事業継続が実際にできるかどうか問われています。それぞれの会社が災害時の事業継続の準備を整えることにより、本心に災害時にも頼りになる「地域において不可欠な建設企業」の地位を確保でき、三県で助け合う体制も具体的に整備できるのではないだろうかと考えます。

学校への取組みと建設業の今後



Approach to school

若い世代へ建設業界に親しみを。アピールと人材育成が鍵。

鹿児島県の高校卒業生の県外就職率は実に半数近く... 建設業に親しむ機会を...

そうした活動を通して感じたことは、学生の皆さんが建設会社に関して持っている情報は思ったよりも少なく...

今後、少子高齢化が進むにつれて、建築業界の労働者不足はますます深刻になり、ニーズはあっても街や社会インフラの整備・維持が困難になっていく可能性もあります...



鹿児島工業高等学校 2017.02.15

質疑応答ではたくさんの生徒さん達から建設業への疑問や興味のある事など質問があり、いい機会になりました。



薩南工業高等学校 2017.02.09

建築をもっと身近に!というテーマで。模擬面接も行い、緊張感や受け応え等の体験してもらいました。

REPORT

部会報告

部長挨拶

GREETING

総務・IT委員会

内村建設株式会社 内村 明高



活動委員会

坂本建設株式会社 諏訪園 匠



会員研修委員会

株式会社森建設 森 義大



一般社団法人鹿児島県建築協会青年部会

部長 堀ノ内 茂樹 Horinouchi shigeki



■ 熱く盛り上がりました!!

青年部会では、毎年1月末ごろにボウリング大会と新年会を開催しています。今年の新年会はなんと例年の3倍近くの参加者が!というのも、今回は、青年部会20周年記念式典に続き、鹿児島青年団体の方々にもお越しいただいたのでした。半年ぶりではありましたが、一度杯を交わした仲間ですので、すぐに熱い対話が行われていたようでした。

宴会と言えば、内村建設では、ここ1年ほど、若手社員の懇親費に補助をしており、いいペースで活用されています。が、若手と言えどは40歳くらいなので、お説教もしばしば...フラットな関係づくりにはもうひと工夫必要そうです。

■ 学生交流会を積極的に開催

活動委員会では2月に薩南工業高校と鹿児島工業高校の2校で「学生との交流会」を開催しました。中池副委員長による木造住宅の設計の苦労話や施工時の裏話などは、建築業を志す学生の皆さんにとってはとても新鮮で、勉強になったようです。工業高校に通う学生の皆さんはとても熱心で、質疑応答の時間になると、かなり積極的に質問が飛んできました。坂本建設ではここ数年で若い社員が増えましたが、彼らの中には、それぞれの仕事が終わった後、会社集まり、資格試験のための勉強をしている人たちがいるようです。学生時代の習慣が残っているうちに、少しでも多くのことを勉強しておこうという姿勢を、とても頼もしく感じています。

■ 来年度も経営講習に是非ご参加を。

会員研修委員会では、講師をお招きし経営講習会を毎年実施しております。来年度は、社内のモチベーションアップ、ライフワーク活動にスポットを当てて勉強していければと考えております。是非、ご参加頂きますよう宜しくお願い致します。森建設では現場監督として外国人の雇用を進めています。ベトナムから4名、ネパールから1名、中国から1名の計6名が奮闘しています。母国語と日本語を上手に使い分ける彼らに戸惑いつつも、お互い刺激の多い日々を過ごしています。

■ 会員の結束力で、より素晴らしい故郷を次の世代へ

平成28年度は、青年部会にとりましても節目の年となる創立20周年記念式典を開催し、熊本・宮崎との三県合同懇談会も鹿児島にて実施いたしました。ここ数年力を入れております青少年育成事業について、かごしま住まいと建築展へのブース出展及び将来の鹿児島の建設業を担う青少年への建築の魅力発信、鹿児島県内各工業高校への出張交流会を開催いたしました。また、経営者自身の人材力アップを図るべく、時代の変化に対応し得る経営者として持つべき資質・強靱な組織作りに必要なスキル・人材不足を少しでも解消するための魅力ある組織作りのあり方を学ぶ研修会を開催いたしました。部会長を拝命した当初、建設業界発展の為、そして建築協会会員企業様の発展の為にどの様に寄与出来るのか、諸先輩方にも知恵を頂きながら年間事業方針を立てた事を思い出すと同時に、この機会を頂いた事に改めて感謝いたします。時代の変化は非常に早く、会社の風土作りや従来のコミュニケーションについて、これまでの手法では通用しなくなってきている昨今、その時代の流れに対応すべく、どの様にして社員満足度を向上させるのか、人手不足をどの様に解消していくのか、今後も課題は山積しています。しかし、この様な時代だからこそ、建築協会会員の結束力により、より素晴らしい故郷を次代に残していく使命が我々にはあると考えています。あと、1年の任期ですが、頂いた機会を十分に活かせる様、協会や青年部会会員の皆様のお力とお知恵を頂き、最後まで邁進していきたくと思います。今後も建築協会青年部会にご理解頂きます様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

INFO

ご案内



建設・建築に関わる青年団体、地域で活動される異業種の団体や個人の皆さんとのコラボレーションをしていきたいと考えています。お互いが持つ技術力、経験、リソースを活用することで、それぞれの活動の質を高め、周知される範囲を広げ、いき、共通する地域活性化という目的に貢献できるはず。まだまだアイデアは足りていませんが、合同の出前講座、合同の就職説明会、合同の研修や勉強会。また、合同での大規模な清掃活動等々、一緒に企画を考えて共に新しい交流の形を作っていきましょう!

2000 誌のランダムコラム

現場の飯

家族のつくるお弁当

皆さんはお昼はどうしていますか? 建設現場での食事。建設現場って、なかなか外に食事に行くのは難しいんです。これは、ある日のある建設会社さんの若手社員さんのお弁当。実は、お父さんが料理人をされているそうで、とても美味しそうなお弁当です。現場は、頭も体も使うし、とても疲れるけれど、家族が作ってくれたお弁当を食べると乗り切れそうです。



色も鮮やかで、美味しそう☆

Staff introduction

~ 建設業で働く人達 ~

日々の振り返りを大切に。経験を重ねる。

内村建設株式会社 大川 泰正 (30) 二級建築士 入社1年目



現場監督1年目として、朝礼、新規入場者安全教育、墨出し、現場の安全管理(危険箇所)などに取り組んでいます。時には職人さんの手伝いをして、どのような作業が身をもって知るようにもしています。これまでの働いた経験や専門学校で学んだビジネスマナーが自分の宝となっていて、現場でのコミュニケーションに活かしていると思います。

仕事は、先輩や上司の方々が、とても優しくいつでも気軽に下さるのびのびと仕事が出来ています。また、若い社員での飲み会が2カ月に1回ぐらいのペースであるので色々相談ができますし、他の社員との仲も深まりました。これから現場も2つ目3つ目となるにつれ、甘えが通用しなくなります。毎日をしっかり振り返りながら経験を積み、信頼を獲得して、早く現場を任せられるようになりたいです。

事務局よりお知らせ

(一社)鹿児島県建築協会では、建築関係技術者研修会等の開催を予定しております。詳細につきましては、ホームページにて随時情報公開しておりますのでご覧ください。また、同じく青年部会のコーナーでは、2000 誌はもちろん、主な事業計画、活動報告等を掲載しております。そちらもあわせてご覧ください。⇒ http://www.kagoken.net